

社長記者会見を開催

1月18日、関西放送記者会（新聞社、通信社など18社で構成）を対象に、三村景一社長が記者会見を行いました。会見の概要は以下の通りです。

■2017年(1月1日～12月31日)のテレビ視聴率について

全日帯(6～24時)が1995年以来22年ぶりの2位、ゴールデン帯が1999年以来18年ぶりの2位となりました。TBS テレビのドラマでヒットが相次いだことや、当社発の番組も「プレバト!!」をはじめ好調なものが多く、頑張ってきたことが実を結んだと捉えています。

■インターネット配信などの伝送路について

今年も重要なテーマと位置づけて取り組んでまいります。ここ2年配信に力を入れてきたおかげで、無料見逃し配信の「MBS 動画イズム」、月額定額課金の「MBS 動画イズム 444」ともに少しずつ伸びてきています。

■ライブの強化と「ライブセンター」着工について

MBS は人と人とのつながりを大事にし、ライブに一番強いローカル局を目指しています。それを実現するためのライブ情報発信の基地「ライブセンター」の計画が整い、来月着工することになりました。生放送に対応しやすい環境、働きやすい環境を整えて来年2月に完成予定です。スタジオを中心としたM館2階は「情報フロア」となり、報道フロア同様に各地から集まる映像をウォッチしたり、情報デスクがニュースデスクと常時接続のテレビ会議システムで情報共有したりして、災害情報やニュースの速報、現在進行形の事象を生情報番組内で速やかに発信できる態勢を整えます。来年4月には関西で一番ライブに強いタイムテーブルが出来るようこの1年取り組んで欲しいと指示しています。テレビのニュースや情報番組の生放送だけでなく、WEB配信やラジオ、スポーツ中継も含めて、発信していける場にしていきます。

■ライブコンテンツとしてのイベント

また、イベントもMBSが発信できる大切なライブのコンテンツだと考えています。カウントダウンで渋谷の交差点に10万人が集まるといったことを目にして、共感したいという人々の思いを強く感じさせられる時代です。茶屋町全体をイベント会場にしていこうということで「チャリウッド」というイベントが生まれてきましたが、インバウンドで訪れた外国の方々が「茶屋町」と検索した時にどういう言葉で紹介される街なのかということも意識していきたいと思います。大学や専門学校や放送局が集まり、若者文化が発信されていく街であって欲しいと考えて取り組みを続けています。グランフロント大阪のスケートリンク「つるんつるん」は梅田の冬の風物詩になってきましたし、夏の風物詩になってきたお化け屋敷は去年、ひらかたパークと組ませていただきました。夜のパーク全体をお化け屋敷にという企画が大変人気です。これらはパッケージを持ってくるのではなく、MBSの社員と一緒に企画を考えて作り出してきたものです。お化け屋敷は今年はさらにグレードアップしてやりましょうということになっていますので、関西を代表するナイトエンターテインメントに育てて欲しいと願っています。また「シアターBRAVA!」に代わる新劇場の計画についても、確実に一歩ずつ、前向きに進んでいます。

■節目を迎える長寿番組について

まず「皇室アルバム」が夏に放送 3,000 回を迎えます。1959 年 10 月スタートは民放のレギュラー番組として最長寿で、週 1 回放送の番組が放送回数 3,000 回に達するのもちろん民放初で、来年秋には放送開始 60 周年を迎えます。

また、「情熱大陸」も 4 月で放送開始 20 周年、1,000 回を迎えます。「情熱大陸」のスタッフには「皇室アルバム」の 3,000 回を目指すように、と伝えているところです。

「ちちんぷいぷい」は来年 20 周年です。スタートの時には「もうすぐ新しい世紀を迎えるから、新しい世紀に相応しいワイドショーを作ろう」と言っていましたが、来年には元号も変わり、また新しい時代になります。当社としてはライブセンターが完成予定ですので、新しい時代に向けて放送していきたいと思います。

以上